

報道関係者 各位

令和3年3月8日

能楽シテ方観世流/人間国宝 大槻文藏氏が「大阪観光大使」に就任

「文化芸術のまち大阪」の発信を期待

公益財団法人 大阪観光局（理事長／溝畑 宏）は、大阪・関西の魅力を国内外に幅広く発信するため、長きに渡り大阪の能楽界を牽引し、伝統芸能の継承及び発展に多大な貢献をされている能楽師の大槻文藏氏を、「大阪観光大使」として任命いたしました。

大阪への外国人訪問者数は2019年に過去最高の1,231万人に達し、大阪は世界中から観光客が集まる国際観光都市となっています。さらに、2022年のワールドマスターズゲームズ、2025年の大阪・関西万博、その先のIR誘致を控え、国内外へ大阪をアピールする大きなチャンスが訪れています。

このような中、大阪観光局は国際観光都市としてのさらなる飛躍を目指し、大阪の歴史、文化芸術を重要な観光コンテンツと位置付け、その発信を強化しています。また、大阪は「上方文化」という言葉に象徴されるように、日本の数多くの伝統芸能・娯楽が発展を遂げた街です。

そのため大阪観光局は、「文化芸術のまち大阪」のブランドを推進し、文化芸術の振興を加速させるために、大阪を代表する能楽師であり、大阪文化にも精通されている大槻文藏氏を大阪観光大使として起用するに至りました。

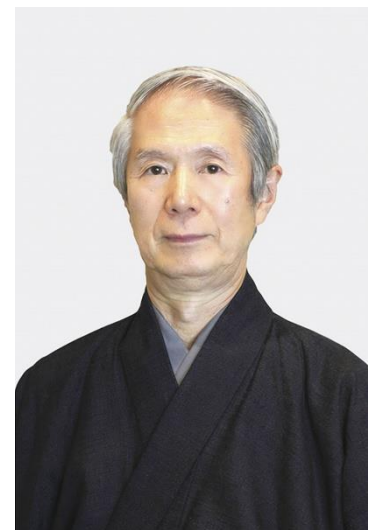
長い歴史と伝統の中から生まれ、日本人の精神性や宗教観が色濃く反映されている日本の伝統芸能。なかでも約600年の歴史を持つ「能・狂言」は、現存する世界最古の舞台芸術であり、ユネスコ無形文化遺産に登録され、海外からも高く評価されています。

世界水準の国際観光文化都市を目指し、弊局は今後も大阪・日本が誇る文化の発信を推進します。

大槻 文藏

シテ方観世流能楽師。1942年大阪生まれ。大槻秀夫の長男。祖父十三、父秀夫および観世寿夫、八世観世鍔之丞に師事。1947年「鞍馬天狗」にて初舞台以降、三老女の披演とともに復曲能、新作能にも積極的に携わる。紫綬褒章、旭日小綬章、日本学賞など受賞多数。

大阪能楽養成会副会長、大阪文化芸能国民健康保険組合理事長、公益財団法人大槻能楽堂理事長。2016年重要無形文化財保持者各個認定（人間国宝）、2016年度日本芸術院賞受賞、2018年文化功労者選定。



[本ニュースリリースに関する問合せ先]

公益財団法人大阪観光局 MICE 推進部

TEL: 06-6282-5911